

殷紂妲己

【殷紂】インチウ 殷王朝の紂王。夏桀と並ぶ暴君の王で、四の帝王で滅ぼされた(前1100年ごろ)。【史記】原本紀下(紂)がある。【妲己】タンキヤ 紂王の有蘇氏女也。また「史記紂本紀」に「妲己姓也」とある。

【手格猛獸】(補注)格、闘也。言使手可以搏猛獸。

【作新淫之聲】北鄙之舞靡靡之樂(補注)「史記」云、使師涓作之。師涓、里。靡、靡部八画。

【積糶爲邱】(補注)「晉書」師涓作正雅、引此句下有妲己曰、謂師涓、成不立耳十一字。今本脫。昨ハノリ抜

【音】カウ・肉部一〇画 あぶらを齧ること。

【比干】紂王のおじ。後文の箕子・微子とあわせて孔子に「殷有三仁有り」(陽明傳)と稱せられた。

【七竅】(校注)「太平御覽」下有竅有九毛四字。竅ケウ・六部一三画

【箕子】キン 紂王のおじ。紂を諫めて囚われたが、狂人のまわをして身を保った。

【微子】ピン 紂王の異母兄。のちに周公によって宋に封じられ、殷の祭祀を守った。

【牧野】今の河南省淇県の南。

【倒戈】ほこをさかさまにする。殷わすに背走すること。

【鹿臺】リンダイ 台の名。

【衣寶玉衣而自殺】(補注)衣、其寶玉衣、杜火而死。

【小白旗】(校注)即雜帛也。「左傳」謂之少帛。白與帛通。雜帛は他の色を雜えて織ったきぬ。

【書曰】(書經)周書 牧誓。「牝雞 晨する無し。牝雞の晨する、これ紂の索くるなり」

【詩云】(詩)「日部」七画

【索】(補注)注云「日部」七画也

【詩云】(詩經)「小雅」巧言篇。「君子 盜を信すれば、乱ごをもつて暴たり。その共を止むるのみにあらず、これ王の巧なり」

【匪其止共】(補注)「鄭箋」巧言也。小人好爲亂。既、不共其賊也。又爲、王作病(共)也。

【惑亂是脩】(補注)亂行をきわめること。

妲己者、殷紂之妃也。嬖幸於紂。紂材力過人、手格猛獸。智足、以距諫、辯足以飾非。矜人臣以能、高天下以聲。以爲人皆出己之下。好酒淫樂、不離妲己。妲己之所譽貴之、妲己之所憎誅之。作新淫之聲、北鄙之舞、靡靡之樂。收珍物、積之於後宮。諛臣羣女、咸獲所欲。積糶爲邱、流酒爲池、懸肉爲林、使人裸形相逐其間、爲長夜之飲。妲己好之、百姓怨望。諸侯有畔者、紂乃爲炮烙之法。膏銅柱、加之炭、令有罪者行其上。輒墮炭中、妲己乃笑。比干諫曰、不脩先王之典法、而用婦言。禍至無日。紂怒以爲妖言。妲己曰、吾聞聖人之心、有七竅。於是剖心而觀之。囚箕子、微子去之。武王遂受命、興師伐紂、戰于牧野。紂師倒戈、紂乃登鹿臺、衣寶玉衣而自殺。於是武王遂致天之罰、斬妲己頭、懸於小白旗、以爲亡紂者是女也。書曰、牝雞無晨。牝雞之晨、惟家之索。詩云、君子信盜、亂是用暴。匪其止共、維王之巧。此之謂也。

頌曰、妲己配紂、惑亂是脩。紂既無道、又重相謬。指笑炮炙、諫士劊囚。遂敗牧野、反商爲周。